

## 守山まるごと活性化 議事要旨

会議名: 第5回 A 野洲川河川敷・伏流水再生プロジェクト推進会議

日時: 平成 28年 2月 9日(火) 午後7時30分～8時50分

場所: 中洲会館 2階 大ホール

出席者: 尾村、中島、津田藤、津田昭、森田信、平野、橋本、勝見、根木山、樋上、増田  
谷口、川那辺、土肥、上路、北脇、北村、谷口計、中村、奥村園長、服部校長

出席者(行政): 川端、松浦、又吉、坪内、高山、館長、会館主事

使用資料: 次第、(仮称)野洲川中洲河川公園 工事概要説明、やすたん発足

## 議題

- ・行政からの情報提供および遊具や樹木等の検討について
- ・(仮称)野洲川中洲河川公園の活用の検討について
- ・その他
- ・次回会議について

## 会議要旨

## 内容

## ●事務局からの説明

- ・メンバー紹介
- ・今回、幼稚園長、小学校長、学区子ども連合会、中洲小PTA、中洲幼稚園つくし会、明富中PTAに会議の出席を依頼した背景について説明

## ●行政(都市計画・地域交通課)からの説明

- ・(仮称)野洲川中洲河川公園は平成27年度から3年計画で着工。
- ・平成25年度に「かわまち検討委員会」で地元地域の方と協議した内容を元に、公園の施工を進めている。
- ・平成28年10月にはシンボルツリー、健康遊具、看板の施工をするため、都市計画・地域交通課でリストアップしたものの中から、同年4月には設置物を選定してほしい。
- ・看板に公園の名称を入れるため、名称を平成28年7月までに決めてほしい。

## 【設置物の条件】

- ・川の中に遊具を置きすぎると増水時に流木を阻害することになるため、健康遊具は高さ1m以内のものを5個まで設置可能。
- ・シンボルツリーは1本のみ選定。子どもが実を拾って楽しめ、夏場は日陰になるもので、極力大きい木を選定すること。既存に生えている木で、元気なものは残す予定。
- ・看板はリストアップした2例から選択してほしい。
- ・名称は子どもの公募を募るとか、卒業生に決めてもらうとか、子どもが親しめる名称を子どもに決めてもらうのはどうか。

(裏面に続く)

## 決定事項

(仮称)野洲川中洲河川公園の設置物は、当初「かわまち検討委員会」で協議されたことを元に進められていたが、子どもがより親しめる公園にすべきことから、児童用遊具の設置を検討することとした。  
今回行政から選定依頼のあった設置物は次回会議において決定し、学区21活動協議会で承認を得た上で行政に報告する。

## 次回以降について

(仮称)野洲川中洲河川公園の設置物の決定。

・次回は3月9日(水)19:30～

## 会議要旨

### 内容

#### 《メンバー、保護者、教育関係者からの意見》

- ・制約条件が大きい。
- ・公園のコンセプトは何か。
  - 水辺に親しめる公園。護岸に下って、水や魚に親しめる空間にする。
  - もう少し子どもが楽しめる公園にできないか。公園を一番利用するのは子ども。  
たとえば、子ども用の遊具や、遊具の高さに条件があるなら、芝生すべりコーナーや、子どもの想像力を働かせるもの(例 遊歩道に丸石を埋め込むまたは丸枠を書くことでケンケンができる等)はできないか。
  - 健康遊具以外でも提案してもらえたら国にかけ合う。どういう物を希望するか市へ言ってほしい。
- ・ボランティアが公園内にタイヤを置く、丸太を並べるといったことはできないか。
  - 勝手に行なうと撤去の可能性がある(他の公園で実例あり)。市と相談しながら順序良く進めるように。

#### 《設置物、名称の決め方について》

- ・今回会議には決められないため、次回会議に決定する。
- ・メンバーの橋本さんに遊具のカタログをお借りし、高さ1m以内の物をピックアップ。2月29日にメンバー、保護者、教育関係者へカタログ資料を事前に見てもらえるよう送付する。
- ・次回会議で決めるのはあくまでまるごと活性化としての案であり、中洲学区21活動協議会の常任理事会(3/10)、合同評議員会(3/24)で学区の承認を得た上で行政に報告する。

#### ●(仮称)野洲川中洲河川公園の活用の検討について

- ・河川公園の整備だけでなく、子ども達が楽しめる仕組み(ソフト事業)づくりが必要。その一つとして「なかず野洲川たんけん隊」を紹介。
    - 《「なかず野洲川たんけん隊」について》根木山さん、樋上さん、増田さん
    - ・琵琶湖河川レンジャーである根木山さんが、野洲川の魅力を子ども達に知ってもらい、かつ子どもだけでは川に近づくのが危険なことから、大人が子どもを見守りながら活動できる取り組みとして樋上さんをはじめとして「なかず野洲川たんけん隊」を発足。
    - ・平成27年度は野洲川で3回活動し、壁新聞を作成。12月の琵琶湖博物館で行なわれた「こどもエコクラブ県内交流会」にて審査員特別賞を受賞した。
- ⇒まるごと活性化のメンバーだけでなく、まちづくり団体や根木山さんたちの力が必要。  
今後も根木山さんには会議に参加していただく。

